

# Chofu iro Wakka



**1**  
百日紅の  
ローズピンク



調布市の花である百日紅(サルズベリ)は、昭和49年4月1日に調布市民からの公募により制定されました。百日紅(サルズベリ)は、7月から秋まで連続して開花する開花期の長い花で、市の街路樹として品川通りなどに植えられています。百日紅(サルズベリ)の合言葉は「雄弁」「愛嬌」です。

**2**  
はなみずきの  
赤



調布市には「はなみずき」と名前のつけられた支援センターやレストランなどがあります。さらには、マンホールのデザインになっていることもあり、なにかと縁の深い花なんです。花期は4月下旬から5月上旬で、街路樹として植えられることも多く、調布の道路脇に咲いているのを探してみてもいいですね。

**11**  
調布の鳥  
目白の黄緑



調布市民の自然愛護のシンボルです。日本全国の平地から山林に生息する留鳥で、目の周囲に白いリングがあることからこの名がつけられました。市内では、神代植物公園やその周辺で主に見かけられます。緑がかった背と暗褐色の羽を持ち、目の周りの白い輪が特徴です。

**12**  
調布の木  
くすの木の深緑



調布市の木として昭和49年4月1日に制定されたくすの木は、四季を通じて明るい緑の葉が生い茂り、雄大な樹形の常緑樹です。特に都市の緑としてすぐれ、公害や病害虫にも強い日本の代表的な巨木です。市役所や調布市内のさまざまな公園にも植えられています。

**13**  
ハグロトンボ  
の黒



細長く、黒っぽいねを持った、ヒラヒラと飛ぶトンボです。オスの胴体は金緑色に輝き、メスは全身が黒い。調布市では、多摩川などの河川の岸辺で見られます。平地や丘陵地、水生植物の生える流れを好み、住宅地の周辺でも飛んでいることがあります。

**14**  
調布飛行場  
滑走路のグレー



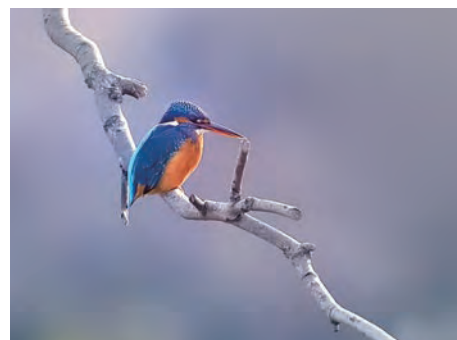
調布飛行場(ちょうふこうじょう)は、東京都調布市(一部三鷹市・府中市にまたがる)にある日本の飛行場です。東京都営空港の一つで、正式名称は「東京都調布飛行場」です。「調布空港」と呼ばれることもあり、新島や大島、神津島、三宅島を訪れるための空路として活躍しています。

**3**  
深大寺  
だるま市の赤



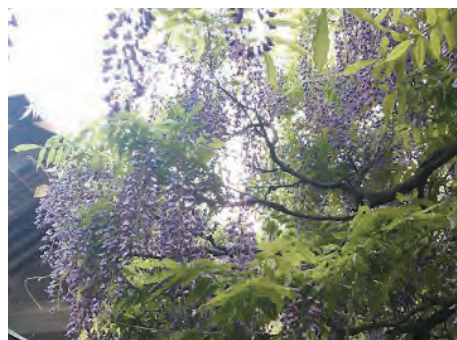
深大寺の諸行事中、最大の行事が「厄除元三大師大祭」です。3月3日、4日の両日にわたり執行され、これにあわせて境内では大師様のご威力にあやかる縁起だるま市も開かれます。「日本三大だるま市」の1つとして、また東京に春を呼ぶ深大寺のだるま市としてその知名度は全国的です。

**4**  
カワセミの  
瑠璃色



調布市を流れる野川には四季折々に多くの野鳥たちがやって来て散策する人達の目を楽しませてくれます。カワセミもそんな野鳥の一種です。「飛ぶ宝石」「水辺の宝石」と呼ばれるカワセミを漢字では「翡翠(ヒスイ)」と書くのも頷ける美しさは、見る人の心を躍らせます。

**5**  
国領神社  
千年藤の藤色



国領神社のご神木である藤の大木は「千年乃藤」と呼ばれ、藤色の花房と甘い香りが立ちこめる境内は「ちょうふ八景」にも選ばれ、4月の終わりから5月の初めにかけて初夏を彩る調布の風物詩となっています。市内はもちろんな市外からも境内に広がる藤棚の花見と参拝に多くの人が訪れます。

**6**  
多摩川・野川  
の水色



多摩川は首都圏を流れる一級河川。調布では税として納める布の生産のために、女性たちが多摩川の水で布をさらすの仕事をしていました。野川は国分寺の湧水を源流とする多摩川に注ぐ支流。市内を流れる川の両側には桜並木があり、年に一度だけ開催される、夜桜のライトアップが人気を呼んでいます。

**15**  
一反木綿の  
白



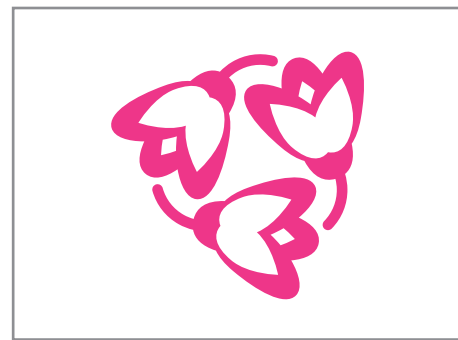
一反木綿(いったんもめん)は、鹿児島県肝属郡高山町(現・肝付町)に伝わる妖怪です。伝承地では「いったんもめん」「いったんもんめん」とも呼ばれており、調布市では水木しげる氏の「ゲゲゲの鬼太郎」で鬼太郎の仲間の妖怪として登場し、調布市民からも愛されているキャラクターです。

**16**  
京王線の青



京王線は新宿を起点として東京都西部を中心に神奈川県北部にもまたがる鉄道で、その間に調布市を通っています。調布市の中心にある調布駅以外にも、仙川、つつじヶ丘、柴崎、国領、布田、西調布、飛田給、京王多摩川と多くの駅が調布市に存在し市民や来街者の交通の一翼を担っています。

**17**  
京王メモリアル  
調布のピンク



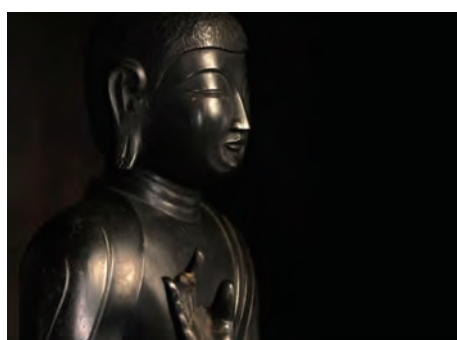
京王メモリアル調布は、京王グループの葬儀社である京王フェアウェルサポートが運営しています。お客様に寄り添い、故人様やご家族の想いをかたちにする「たった一つ」の葬儀をご提供します。調布市全域の公営斎場や寺院のホール、ご自宅等での葬儀も承っており、事前のご相談から葬儀後まで様々なサービスを展開しています。

**18**  
パルコの赤



パルコ調布店は、調布駅前のランドマークとして約30年地元の皆様にご利用いただいております。バラエティあるファッション、雑貨ショップに地下の食品、7Fレストランは幅広いお客様のニーズにお応えしております。

**7**  
深大寺 銅造  
釈迦如来像の金



銅造釈迦如来像は関東地方に伝来する白鳳時代の仏像の代表作として名高く、美術全集等でもしばしば取り上げられています。材質・構造は銅造の一鑄で、かつては全体に鍍金が施されていましたが、現状ではほとんど残っていません。調布市内最古の仏像で、国の重要文化財に指定されています。

**8**  
野川に咲く  
菜の花の黄色



菜の花(なのはな)は、アブラナ科アブラナ属の花の総称です。たくましく川原や荒れた土地にも繁茂するため、河川敷や堤防、空き地に播種し、菜の花畑を作るケースがあります。野川では、春になると桜と菜の花が同時に見られる場所もあり、調布市民の憩いの散策スポットとなっています。

**9**  
深大寺そばの  
そば色



江戸時代、深大寺周辺の土地が、米の生産に向かないため、小作人はそばをつくり、米の代わりにそば粉を寺に納め、寺ではそばを打って来客をもてなしたのが、深大寺そばの始まりと伝えられています。深大寺周辺にはたくさんのおそば屋さんがあり、どのお店もそれぞれ違ったお味と魅力が満載です。

**10**  
布多天神社の  
緑



布多天神社の創建はあまりに古く定かではありませんが、延長五年(927年)に制定された「延喜式」という法典にその名を連ねる、多摩地方有数の古社で、社伝によれば第11代垂仁天皇の御代約1940年前の創建といわれています。永く、調布市民の憩いのスポットとしても愛されている神社です。

**19**  
さくらツーリ  
ストのピンク



調布市の旅行会社として創業70年!ではありませんが、延長5年(927年)に制定された「延喜式」という法典にその名を連ねる、多摩地方有数の古社で、社伝によれば第11代垂仁天皇の御代約1940年前の創建といわれています。永く、調布市民の憩いのスポットとしても愛されている神社です。

**20**  
NPO法人調布市  
地域情報化コン  
シアムの緑



CLICは、調布市と共同開発した「ちょうふ地域コミュニティサイト『ちょみっつ』」を始め、公的機関のWEBサイト制作のほか、地域情報サイト「ちょうふどっとこむ」や調布のニュースサイト「調布経済新聞」の運営を行い、必要な人に必要な情報がわかりやすく伝わる環境を整備して、人にやさしい地域社会の実現を目指すNPO法人です。



IROWAKKA つなぎに使うのは、調布由来の資源から色を選んで制作したオリジナルの「調布色の折り紙」です。調布の色を、2017/3/20の調布まち活フェスタのワークショップブースにて、調布市民のみんなで決めました。「調布色の折り紙」が完成した際には、調布市内で購入ができるようにも考えています。